

## 目的と背景

- ◆ 2050年カーボンニュートラルの実現のため、自動車分野の脱炭素技術の推進に向け、バッテリー等を中心に電動化技術の重要性が一層高まっている
- ◆ 脱炭素化技術に関して、車両の安全・環境性能の向上に貢献するため、国際標準化活動とも連携し、官民が協力する体制を構築し、(1)国連自動車基準調和世界フォーラム(WP.29)の議論への対応、(2)主要国政府・メーカー・研究機関との連携や働きかけ、(3)標準化活動との連携、(4)国内外動向等に関する基礎調査・研究、(5)国際シンポジウムの開催(情報の発信)等を効果的・戦略的に実施することを目的とする

## 脱炭素化技術の官民連携推進体制の構築

- ◆ 当該体制においては、標準化活動とも連携し、車両の安全・環境性能の向上、さらには関連産業の国際競争力確保のために、技術の進展を踏まえてオールジャパンで国際基準の議論に戦略的に対応していくことを目的として、自動車基準認証国際化研究センター(JASIC)に、自動車イノベーション標準化研究所を設置
- ◆ 当該研究所の中に、官民連携により一体的に対応することが不可欠なイノベーション技術である「自動運転技術」と「カーボンニュートラル技術」の2つのテーマを扱う会議体(センター)を設置
- ◆ これまで自動運転の基準・標準で戦略的に連携してきた「自動運転標準化研究所(H28.5設置)」を「自動運転センター」と改称するとともに、自動運転標準化研究所のモデルをベースとして、バッテリー交換式EV等の脱炭素化技術の進展を踏まえた国連標準化に向けた会議体「カーボンニュートラルセンター」を新たに設置
- ◆ 脱炭素化技術に係る国際基準の策定について、国連でのバッテリー等の基準に係る議論やISO、IEC等の国際標準でのバッテリー等関係の議論の動向を把握し、官民の関係者に共有するとともに関係者からの意見を踏まえ、今後のバッテリー等脱炭素化技術に係る国連基準提案のために必要な事項等について整理・検討を行う。

### <体制>

